

■ 1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2011」(京都)の開催及び評価

龍谷大学との共催でJVCA10周年にあたる研究集会を開催した。

2010年度より現地のコーディネーター等によって実行委員会を設置し、プログラムの企画と運営を行った。今回は現地に事務局を引き受けてくれるタイアップ団体が確保できなかったため、実行委員のなかで事務局チームを結成し、東京事務所との連携により事務局機能を担った。

テーマ：「^{きょう}京から^{あした}未来の市民社会を^{てん}創る～10換期、多様化する社会を貫く軸」

期 日：2011年2月26日～2月27日(土～日)

場 所：龍谷大学 深草学舎 共 催：龍谷大学

参加者：251人

分科会数：29分科会 ウォーミングアッププログラム 5種類

実行委員数：50人 運営ボランティア：48人

協力講師・事例報告者等 53人(一部実行委員と重複あり)

実行委員会開催状況

※実行委員名簿は参考資料1(24ページ)

回	期 日	会 場	参加人数
第9回	1月22日(土)	龍谷大学 深草学舎	42人
第10回	2月12日(土)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	31人
第11回	3月27日(日)	龍谷大学 大宮学舎	24人

▼案内板を準備。道案内は学生にお任せ！



▼JVCC2011のオープニング～10年後をアツく語るパネルディスカッション



▲初の会員公募「実践研究発表の分科会」



▲玄関に設置した「JVCAルーム」。入会受付や図書販売コーナー等。

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会2012」(開催地:東京)の準備

2012年度の研究集会を立教大学(大学院21世紀社会デザイン研究科)との共催で行い、会場を同大学の池袋キャンパスにて開催することに決定した。6月には関東の実行委員経験者による準備会を開催し、実行委員の人選等を行い、7月より月1～2回の頻度で実行委員会を開催した。12月にはプログラムがおおむね確定し、開催要項およびPRチラシが完成した。

実行委員会開催状況

回	期日	会場	参加人数
準備会	6月9日(木)	東京ボランティア・市民活動センター	12人
第1回	7月3日(日)	立教大学 池袋キャンパス	20人
第2回	8月13日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	19人
第3回	9月10日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	18人
第4回	9月25日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	19人
第5回	10月10日(祝)	東京ボランティア・市民活動センター	17人
第6回	10月17日(月)	東京ボランティア・市民活動センター	18人
第7回	11月3日(祝・木)	東京ボランティア・市民活動センター	21人
第8回	11月20日(日)	岸町ふれあい館	21人
第9回	12月10日(土)	立教大学 池袋キャンパス	21人

(2) 研修の開催および研修企画の支援

①ボランティアコーディネーション力3級検定直前研修の開催 2回(東京2回、大阪2回)

②ボランティアコーディネーション力3級検定直前研修の共催 6回(共催団体)

③ボランティアコーディネーション力2級検定直前研修の開催 2回(東京・大阪)

⇒①②③については(3)ボランティアコーディネーション検定の実施の項で報告

④各種研修セミナーの開催

・実務者向け:ボランティアコーディネーター基礎研修 2回(関東1回、関西1回)

⇒計画では関東で2回開催する予定だったが、1回を取りやめた。

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修	6月20日(月) 東京文化会館	唐木理恵子 疋田 恵子 後藤麻理子	54人
第37期ボランティアコーディネーター養成講座 (共催:大阪ボランティア協会)	8月26日(金) 大阪NPOプラザ	石井祐理子 白井 恭子 南 多恵子	33人

タイトル	期日・会場	講師	参加者
福祉施設・病院のための ボランティアマネジメント研修 ＜共催：練馬区社会福祉協議会 ボランティア・地域福祉推進センター＞	7月6日(水) 練馬区役所 (東京)	後藤麻理子 樋口実	24人

・実務者向け：ボランティアコーディネーター・ステップアップ研修 1回(関東)

⇒開催を取りやめた。

・ボランティアと向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアと向き合うことの多い あなたのためのファシリテーション講座	9月20日(火) ウイリング横浜	加留部貴行	9人
ボランティアコーディネーターのための ファシリテーション講座 第2弾 もっと活動の ^{リフレクション} 振り返りを効果的にやりたい	10月25日(火) ルーテル市ヶ谷センター (東京)	加留部貴行	8人
ボランティアと向き合うことの多い あなたのためのファシリテーション講座	11月22日(火) COMB i 本陣(名古屋)	加留部貴行	7人

⑤東京都教育委員会・東京学芸大学協力事業：平成22年度都立高校教育サポーター養成事業の実施

講座名「高校生と福祉をつなぐコーディネーション」

2011年1月27日・2月2日・14日 研修時間： 時間 於： 中野サンプラザ

昨年度に続き、東京都教育委員会が主催する「都立高校教育サポーター養成事業」を共催する国立大学法人東京学芸大学と特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所からの協力依頼を受け、標記の研修を実施した。

・都立高校教育サポーター養成プログラム実施・評価委員会委員名簿

No	委員名	所属
1	長 沼 豊	学習院大学
2	廣瀬 隆人	宇都宮大学
3	池田 幸也	常磐大学
4	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会
5	小林 郁義	市民活動センターたちかわ
6	坂 口 平	知的障害者更生施設上田悠生寮
7	正木 成昭	東京都立練馬高等学校
事務局	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・都立高校教育サポーター養成プログラム実施・評価委員会の開催

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	3 月 24 日(木)	中野サンプラザ	4 人

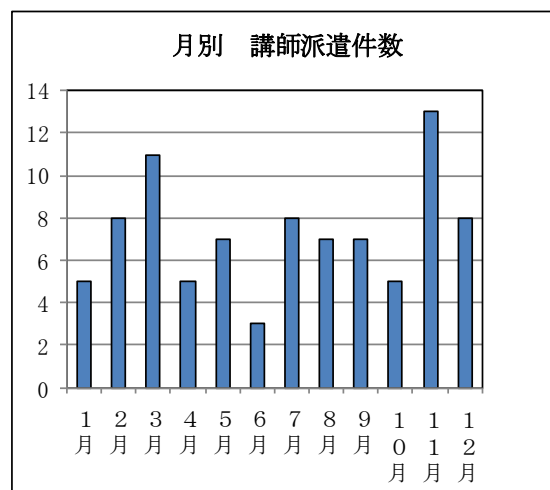
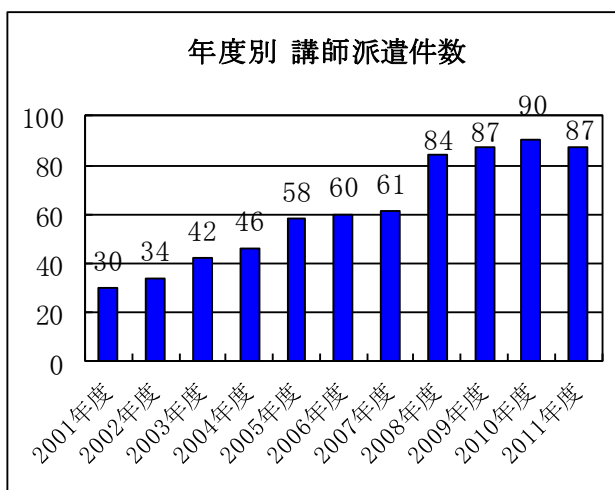
・都立高校教育サポーター養成講座「高校生と福祉をつなぐコーディネーション」の開催

回	期 日	会 場	参加者
第 1 回	1 月 27 日(木)	中野サンプラザ	14 人
○高校生と福祉をつなぐコーディネーションとは 講師：池田 幸也、東京都立第五商業高校生 ○コーディネーターの重要性／ニーズ把握とコーディネーションの実際 講師：疋田 恵子、小林 郁義、坂 口 平			
第 2 回	2 月 2 日(水)	中野サンプラザ	15 人
○高校生に福祉を伝える ～マインド&スキル～ 講師：長 沼 豊 ○参加体験型学習のプログラムづくり 講師：正木 成昭、長 沼 豊			
第 3 回	2 月 14 日(月)	中野サンプラザ	15 人
○多様な学びを支援するツールボックス (ワークショップ、ファシリテーション、リフレクション) 講師：廣瀬 隆人			

⑥研修への講師派遣と講座等の企画支援

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVCAの理事・役員等を紹介した。通常は「ボランティア講座」に対する講師派遣は行っていないが、被災地に向かうボランティアに対する講座・研修については積極的に協力した。派遣数は若干減少した。

⇒講師派遣実績 87 件 105 日（派遣講師 15 人）



(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力3級検定試験の実施 主催 2回 / 共催 6回
 (第1回:東京・大阪/第2回:東京・大阪/共催 6か所)

<第1回検定の実施> (通算第8回)

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター	6月11日(土) ・直前研修	加留部貴行 唐木理恵子	67人
大阪会場 大阪NPOプラザ <共催:大阪ボランティア協会>	10:00~16:30 ・検定試験 17:00~18:00	赤澤 清孝 海士 美雪	73人

<第2回検定の実施> (通算第9回)

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター	12月3日(土) ・直前研修	唐木理恵子 後藤麻理子	69人
大阪会場 大阪NPOプラザ <共催:大阪ボランティア協会>	10:00~16:30 ・検定試験 17:00~18:00	加留部貴行 竹田 純子	69人

▼3級検定直前研修風景



<3級検定(主催) 試験結果>

	第1回	第2回	合計
受験者数	140人	138人	278人
合格者数	119人	113人	232人
合格率	85.0%	81.9%	83.5%

<共催検定の実施>

全国各地での開催を進めるために、ボランティアコーディネーション力3級検定を他機関・団体と共催して行った。当初の計画では4回の予定であったが、多くの希望をいただいたため6か所で実施した。

主催団体・事業名	期日	講 師	受験者
特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター(兵庫県三田市) 「ボランティアコーディネーション力3級検定」	2月20日(日)	筒井のり子	30人
神戸市長田区社会福祉協議会 「ボランティアコーディネーション力3級検定」	2月20日(日)	妻鹿ふみ子	34人

豊田市 「つなぎすとと共に学ぶオープン講座 活動力強化塾 '11 ボランティアコーディネーション力3級検定」	8月20日(土)	加留部貴行 栗木 梨衣	30人
大野城市社会福祉協議会(福岡県) 「ボランティアコーディネーション力3級検定」	9月17日(土)	加留部貴行	76人
滋賀県文化振興事業団 「地域文化コーディネーター& 文化ボランティアコーディネーター養成講座」	10月30日(日)	筒井のり子	29人
長野県社会福祉協議会 「ボランティアコーディネーション力3級検定」	12月3日(土)	筒井のり子	33人

②ボランティアコーディネーション力2級検定試験の実施 2回(第1回:東京/第2回:大阪)

開催地・会場	期日	講師	受験者
<第1回> 東京会場 北とびあ(北区)	5月28日(土)	小原 宗一 妻鹿ふみ子 後藤麻理子	32人
	直前研修 10:00~16:40		
	5月29日(日)		
	直前研修 9:30~14:40 検定試験 15:00~16:40		

開催地・会場	期日	講師	受験者
<第2回> 大阪会場 大阪NPOプラザ	9月3日(土)	筒井のり子 早瀬 昇 後藤麻理子 栗木 梨衣	51人
	直前研修 10:00~16:40		
	9月4日(日)		
	直前研修 9:30~14:40 検定試験 15:00~16:40		

<2級検定(主催) 試験結果>

	第1回	第2回	合計
受験者数	32人	51人	83人
合格者数	21人	34人	55人
合格率	65.6%	66.7%	66.3%

▼2級検定直前研修のグループワーク風景



<検定通算合格者数>

3級	2級
1,099人	143人

2009年度より開始した3級検定の合格者が、第9回の検定をもって1,000人を突破した。

③ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

- ・各級(3級・2級)ごとのチームの設置とチームミーティングの開催
- ・試験問題の作成、試験監督、採点・評価

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 委員名簿

◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所 属	担 当
◎ 1	長 沼 豊	学習院大学	3 級
2	筒井のり子	龍谷大学	2 級
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会	2 級
4	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	2 級
5	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	2 級
○☆ 6	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学	2 級
7	赤澤 清孝	ユースビジョン	3 級
8	唐木理恵子	練馬ボランティア・市民活動センター	3 級
☆ 9	加留部貴行	九州大学	3 級
10	足立 陽子	日本ボランティアコーディネーター協会	3 級

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会

《3級検定チーム》

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	1月5日(水)	JVCA事務所	3人
第2回	4月24日(日)	JVCA事務所	2人
第3回	7月10日(日)	JVCA事務所	4人
第4回	11月1日(火)	JVCA事務所	3人

《2級検定チーム》

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	4月3日(日)	ワールドシティタワーズ(東京)	4人
第2回	5月8日(日)	岸町ふれあい館(東京)	5人
第3回	5月14日(土)	JVCA事務所	3人
第4回	5月18日(水)	JVCA事務所	2人
第5回	5月26日(木)	JVCA事務所	2人
第6回	7月29日(金)	キャンパスプラザ京都	4人
第7回	8月21日(土)	JICA 中部「なごや地球ひろば」	4人

④『ボランティアコーディネーション力2級検定サブテキスト』の編集

⇒昨年作成した標題のテキストについて増補改訂の上、印刷した。

⑤ボランティアコーディネーション力3級・2級検定の講師養成

⇒講師候補は研修をオブザーブし、講師として登壇した。

⑥ボランティアコーディネーションカ1級検定の受験者(受講者)募集開始

⇒2011年度内に受験者募集をする予定だったが、委員会での検討の結果、3日間連続しての研修および試験日程に組み直したため、2012年3月に広報開始、6月直前研修および検定実施に変更した。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン(会員向け)の発行(月1回) ⇒No. 68~79を配信した。

② JVCAリーフレットの改訂 ⇒一部改訂増刷した。(2,000部)

③ ホームページの充実 ⇒下記の項目を加えた(バナーの新設)。

- ・東日本大震災に対するJVCAの取り組み
- ・ご存知ですか?ボランティアコーディネーター
- ・ありがとうJVCA10周年

④ ボランティアコーディネーションに関する情報収集

・ボランティアコーディネーションに関わる文献・書籍を収集し、配架した。

⑤ 雑誌・新聞などへの寄稿、取材対応 など

・『女性自身 4月5日号』(光文社)被災地「中心部」に行かなくてもできる「“初心者”向けボランティアガイド」(取材対応・後藤麻理子)

・『JOINT(ジョイント)NO. 7 2011. 8』(公益財団法人トヨタ財団)【特集】復興へ向けて私たちに何ができるか「その土地で生活する人々の暮らしに寄り添ってこそ」(執筆・後藤麻理子)

・『Volo 2011. 4月号』(社会福祉法人大阪ボランティア協会)

V時評:拡大版「東北地方太平洋沖地震 ボランティア・NPOをめぐる動きと課題」

(執筆・筒井のり子)

・『つな環 2011. 10 第18号』(地球環境パートナーシッププラザ)

【特集】東北からはじまる未来へー「鼎談:3. 11をきっかけとして、これからの市民社会を考える」(出演:長谷部治)

・『地域福祉活動職員のまなこ』No. 72 2012年1月発行(福岡県地域福祉活動職員連絡会)特集 2011年3月11日東日本大震災に関する取り組み(講演要旨掲載:長谷部治)

・『生活協同組合研究』特集 震災とボランティア(429), 10-16, 2011-10(生協総合研究所)「ボランティアコーディネーター顕在化の必要性--平時, 災害時の両面から考える」(執筆:妻鹿ふみ子)

(5) 広報紙および出版物の発行

① ニュースレターの発行

『Co★Co★Net』の発行 年3回(発行月:9月、11月、12月)

⇒震災対応により大幅に発行が遅れたが、9月以降に3号発行した。

第 32 号(9 月 11 日)特集:東日本大震災被害に対するJVCAの取り組み

第 33 号(11 月 20 日)特集:認定NPO法人関する税制大改正

第 34 号(12 月 28 日)特集:被災地のコーディネーション力をアップ!

②『市民社会の創造とボランティアコーディネーション(ボランティアコーディネーション力検定公式テキスト)』の改訂(発行は有限会社筒井書房)

⇒一部修正し、増刷(2,000部)した。

③ボランティアコーディネーション力2級検定サブテキスト(加除式)の改訂・発行

⇒一部改訂し、発行した。

(6) 調査・研究活動の推進

①「ボランティアコーディネーション力検定」システム(1級)の確立

1級直前研修カリキュラムを作成し、各領域・分野における専門的な知識・スキルをもった人材の協力を得て研修プログラムを開発している。

②「JVCA認定ボランティアコーディネーター」システムの開発

本格実施にむけての検討、準備を行っている。受験の条件のひとつを「2級検定合格」から「1級検定合格」していることとし、開始年度を2013年度に変更した。

③上記2つを実施するために「検定・認定システム化検討委員会」を開催した。

⇒本委員会において、①②の案件を検討中

・検定・認定システム化検討委員会 委員名簿

No	委員名	所 属	○委員長
○1	筒井のり子	龍谷大学	
2	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学	
3	杉澤 経子	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター	
4	小原 宗一	北区社会福祉協議会	
5	早瀬 昇	大阪ボランティア協会	
6	竹田 純子	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター	
7	須藤美智子	地球環境パートナーシッププラザ	
8	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	
9	赤澤 清孝	ユースビジョン	
10	岩井 俊宗	宇都宮市民活動サポートセンター	
11	上田 英司	N I C E	
12	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	

回	期 日	会 場	参加人数
第 28 回	1 月 8 日(土)	ワールドシティタワーズ	7 人
第 29 回	2 月 13 日(日)	マイスペース飯田橋店	4 人
第 30 回	3 月 5 日(土)	角筈地域センター	11 人
第 31 回	4 月 3 日(日)	ワールドシティタワーズ	11 人
第 32 回	6 月 12 日(日)	地球環境パートナーシッププラザ	10 人
第 33 回	7 月 17 日(日)	マイスペース カフェ・ミヤマ渋谷東口駅前店	9 人
第 34 回	8 月 14 日(日)	須藤ビル(渋谷)	9 人
第 35 回	9 月 18 日(日)	角筈地域センター	7 人
第 36 回	11 月 3 日(木・祝)	マイスペース飯田橋店	8 人
第 37 回	12 月 10 日(土)	JVCA事務所	8 人

④ボランティアコーディネーター倫理綱領案の作成

ボランティアコーディネーターの専門職としての自覚と遵守すべき倫理を表すために、ボランティアコーディネーター倫理綱領の起草に取り組んでいる。作成チームについては、合宿における協議を経て、再編成した。

⑤『ボランティアコーディネーター白書2010－2012』の編集

2010年度に引き続き『ボランティアコーディネーター白書2010－2012』(大阪ボランティア協会発行)の編集に取り組んだ。本書は2011年2月21日大阪ボランティア協会より発刊された。

(7) 相談への対応

①事務局(事務所)に入った電話、メール、FAX等での相談、問い合わせ、連絡などに対応した。

内 容	件数	内 容	件数
ボランティアコーディネーションに関すること	28	会員種別変更・退会	49
ボランティア活動に関すること	20	会費納入	26
研修講師相談・依頼・手続き・調整	347	事業協力・後援依頼	16
主催研修の日程／内容	126	関係(者)団体連絡先照会	12
JVCCに関すること	75	VCO検定	372
図書購入・照会	45	震災関連	148
取 材	20	その他	14
入会希望・問合せ	25	合 計	1,323

②会員メールリストによる会員相互の相談助言活動の促進

悩み相談、意見発信、問題提起、情報交換など、会員メールリストに寄せられる相談を通して会員同士のコミュニケーションを促進した。 ⇒利用件数 541 件

(8) ネットワーク推進事業

①CoCoサロンの開催・運営支援

会員サービスの一環として、会員相互の交流を深める場(機会)として、会員が自主的に開催するCoCoサロンの運営を支援した。会員メーリングリストにより新規開催地を募集したが、立ち上げの申請はなかった。

・CoCoサロンの開催状況

<開催状況一覧>

日程	地域/分野	会場	参加人数	主な内容
3月13日 (日)	北九州 Link 福祉施設	北九州市立小倉南 障害者地域活動 センター	35人	京都福祉サービス協会の西村ころろさんを招き、ボランティアを受け入れる意義の再確認と、施設内での合意形成のためのアイデア共有などを行った。
4月20日 (水)	とちぎ	とちぎユースワーク カレッジ教室	8人	大震災への対応と活動状況の確認のほか、今後の対応とコーディネートの際の大事にすべき視点を確認した。
6月19日 (日)	東海	COMB i 本陣 (名古屋)	16人	大震災に関わった各自の活動をボランティアコーディネーターの視点で報告・評価・意見交換を行い、インフォーマルなネットワーク形成を行った。
11月15日 (火)	北九州 Link 福祉施設	特別養護老人ホーム 好日苑	27人	高齢者施設と障害者施設のボランティア受入れについて事例発表会と参加者の交流を行った。

②CoCoアカデミーの開催

地元で研修を開催したい会員の多様なニーズに応じて、地元会員との協働で研修を開催するしくみをつくったが、条件が合わず開催には至らなかった。

③国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深める。後援の申請に対しては、いずれも本協会のミッションならびに目標に照らし、共感できる内容であったため、すべて承諾した。

・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加

・他団体が実施(主催)する委員会等への協力、参加(委員委嘱)

i) 東京都社会福祉協議会:地域福祉コーディネートのあり方検討委員会(～3月)

ii) 東京都社会福祉協議会:住民活動支援モデル事業等検討委員会(4月～)

iii) 神奈川県:協働の推進に関する調査研究会(NPO 協働推進課)

iv) 東京都中央区:中央区協働推進会議(地域振興課協働推進担当)

- v) 東京ボランティア・市民活動センター：市民社会をつくるボランティアフォーラム2011 実行委員会
- vi) 東京ボランティア・市民活動センター：全国ボランティアフェスティバル TOKYO 実行委員会
- vii) 全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
- viii) 日本NPOセンター：評議員
- ix) 瑞穂町社会福祉協議会：ボランティア・市民活動センター運営委員会アドバイザー
- x) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 臨時委員

(9) アドボカシー活動の展開

① 日本ボランティアコーディネーター協会(JVCA)の認知向上

日本ボランティアコーディネーター協会の存在と市民社会を創造するためには「ボランティアコーディネーターの専門的な役割を確立する」ことが重要であるという当団体のミッションを広くアピールするためにWEBサイトに「ボランティアコーディネーター」の紹介ならびに説明を掲載し、理解促進に努めた。東日本大震災に対するJVCAの対応についてはトップページにバナーを設置した。

② ボランティアコーディネーションの普及啓発

- ・「ボランティアコーディネーター基本指針」を主催研修において出張販売するとともに、講師派遣研修においては簡易版を配付した。
- ・『「ボランティアコーディネーター基本指針」活用マニュアル』をブックレットに挟みこみ、各地域、各職場などにおける活用を促した。

③ 『ご存知ですか？ボランティアコーディネーター』ポスターの配布

ボランティアコーディネーターの社会的な認知を高めるためのポスターを入会時に配付し、活用を呼びかけた。ホームページにも掲載し、ダウンロードできるようにしている。

(10) 東日本大震災への対応

① 被災者主体の災害ボランティアコーディネーションを考えるつどいの開催

地域	期 日	共催団体
大 阪	3月26日(土)	社会福祉法人大阪ボランティア協会
東 京	4月15日(金)	独立行政法人国立青少年教育振興機構
北九州	4月24日(日)	
沖 縄	5月13日(金)	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会

② 災害ボランティア講座(研修会)への講師派遣

期 日	主 催 団 体	対 象
4月16日(土)	独立行政法人国立青少年教育振興機構	青年、支援者
4月21日(木)	環境省職員研修会	被災地支援に赴く職員
4月24日(日)	北九州市	一般市民、団体職員

5月13日(金)	沖縄県社会福祉協議会	一般市民、団体職員
6月1日(水)	立教大学	学生
6月14日(火)	公益財団法人東京しごと財団	55歳以上の高齢者
7月2日(土)	独立行政法人国立青少年教育振興機構	青年
8月7日(日)	安達地方小中学校PTA連合会	保護者、教員
11月12・13日(土・日)	全国ボランティアフェスティバル	一般

③ WEBサイトを通じてのアピール、情報提供

- ・ボランティア活動の心得、募金・寄附等の情報
- ・緊急アピール、メッセージの発表
- ・ボランティアコーディネーターとは(説明、コラム等の転載)
- ・各種情報収集のための他団体HPへのリンク

④ JVC A会員への被災地に赴いての「支援活動」の呼び掛け、推薦

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(事務局:中央共同募金会内)の災害ボランティアセンター運営支援者派遣のプロジェクトに協力し、会員の中から希望者を募り、39人を推薦し、延べ426日(活動日+移動日)の活動を行った。(新潟・福島豪雨災害対応を含む)

- ・活動地 i) 福島県、ii) 宮城県、iii) 連休期間は岩手県も。
- ・内容 i) -1 福島県災害ボランティアセンターにおける広報活動サポート
『福島県災害ボランティアセンター通信(はあとふる・ふくしま別冊)』(タブロイド判・表裏)発行の企画段階から参加し、創刊号~第20号までの企画・執筆・編集を支援した。(2012年度も継続中)

▼第20号表面

▼第2号裏面のボランティアに向けたコーナー



- i) -2 福島県内の市町村災害ボランティアセンターにおける運営支援
- ii) 宮城県内の市町村災害ボランティアセンターにおける運営支援
- iii) 岩手県内の市町村災害ボランティアセンターにおける運営支援

⑤ 東日本大震災・被災地の復興に向けた生活支援コーディネーターの養成と強化事業
 公益財団法人トヨタ財団に標題の事業を提案し、助成金が決定した。提案事業のうちの一つである生活支援相談員研修会を福島県社会福祉協議会と柏崎市社会福祉協議会との共催で下記の通り開催した。

i) 福島県 市町村社会福祉協議会生活支援相談等研修会（基礎編）

	研修内容	講師（第1班の場合）
1 日 目	開会あいさつ オリエンテーション（研修の進行）	福島県社会福祉協議会 日本ボランティアコーディネーター協会
	〔講義・演習〕 仮設住宅での暮らし 訪問活動の進め方	柏崎市社会福祉協議会 統括生活支援相談員ほか
	研修1日目の振り返り	日本ボランティアコーディネーター協会
2 日 目	〔講義〕生活支援相談員事業の位置づけ ・社会福祉協議会の理解 ・生活支援相談員の役割	全国社会福祉協議会 福島県社会福祉協議会
	〔講義・演習〕 被災者・要援護者の理解と訪問活動の実際 ～訪問に必要な知識・技術・態度 (個別支援)	日本ボランティアコーディネーター協会 筒井のり子（龍谷大学・JVC A理事）
	研修2日目の振り返り	
3 日 目	〔講義・演習〕 人と人、人や組織のつながりづくり ～市民のボランティアな気持ちを活かして～ (地域支援)	日本ボランティアコーディネーター協会 後藤麻理子（JVC A理事・事務局長）
	応急仮設住宅における防犯対策について	福島県警察本部
	応急仮設住宅における防災及び救急対策について	福島市消防本部
	研修の振り返りとまとめ	日本ボランティアコーディネーター協会

回	期日	会場	参加人数
第1班	8月9日（火）～8月11日（木）	福島県	47人
第2班	8月31日（水）～9月2日（金）	総合社会福祉センター 講堂	30人
第3班	9月6日（火）～9月8日（木）		28人
第4班	9月20日（火）～9月22日（木）		23人
第5班	10月18日（火）～10月20日（木）		42人

基礎編の研修風景→



ii) 市町村社会福祉協議会主任（チーフ）生活支援相談等研修会（スキルアップ基礎編）

対象を生活支援相談員のなかでもチームをまとめ、リーダーシップを発揮する方々に絞り込んだ主任（チーフ）向けの研修会を開催した。

タイトル	期日・会場	講師	参加者
【第1回】合意形成の基本 <共催：福島県社会福祉協議会>	11月18日（金） 福島県男女共生センター （二本松）	加留部貴行	32人

※ 2日間の連続研修。【第2回】合意形成の実際、は2012年1月23日（月）開催予定



←↓スキルアップ編の講義とワーク



iii) 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会[福島事務局]の設置

本事業を推進するために、福島県内で活動する非常勤スタッフを配置し、福島市渡利地区に事務所（レオパレス）を借り上げた。研修会を企画・運営するにあたっては、福島県社会福祉協議会（福島県災害ボランティアセンター）との連携により進め、生活支援相談員活動の活動状況や研修ニーズの把握を行った。

■ 2 組織運営と財政強化

(1) 通常総会

日 時 2011年2月26日(土曜日) 12時15分～14時00分
 会 場 龍谷大学深草学舎
 正会員数 325人
 定 足 数 163人
 出席者数 207人(議場50人/書面表決98人・委任59人)
 審議事項 第1号議案 2010年度事業報告案ならびに決算案について
 第2号議案 第2期中期ビジョンの策定案について
 第3号議案 2011年度事業計画案ならびに予算案について
 以上、すべての議案について承認された。

(1) - 2 臨時総会

日 時 2011年12月18日(日曜日) 10時30分～10時45分
 会 場 東京文化会館
 正会員数 361人
 定 足 数 181人
 出席者数 208人(議場19人/書面表決189人)
 審議事項 第1号議案特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会の事務所移転とこれに伴う定款変更について
 備 考 臨時総会終了後に、東日本大震災に対するJVCAの取り組みについての報告会を開催した。

(2) 理事会 4回開催

回	日程	会 場	出席	審議事項
第34回	2月20日 (土)	日本NPOセンター	14人	第1号議案 2010年度事業報告・決算案 第2号議案 2011年度補正予算 第3号議案 賃金規程の改訂
第35回	5月1日 (日)	龍谷大学 大阪梅田 キャンパス	15人	第1号議案 処務規程の改定 第2号議案 ボランティアコーディネーション力検定試験委員の選任
第36回	7月10日 (日)	マイスペース 四谷店(東京)	14人	第1号議案 2011年度上半期の事業執行 状況報告と下半期の事業推進 第2号議案 トヨタ財団助成金申請事業の推進体制
第37回	12月4日 (日)	龍谷大学 大阪梅田 キャンパス	14人	第1号議案 事務所の移転と定款変更 第2号議案 2012年度事業計画・暫定予算案 第3号議案 ボランティアコーディネーション力1級検定ならびに認定ボランティアコーディネーターシステム 第4号議案 2012年度試験委員の任命 第5号議案 [理事候補者選任選挙]選挙管理委員の選任

(3) 監事監査の実施

2010年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2011年 1月31日(月) 16:00~18:00 場所 JVCA事務所

(4) 第7期理事候補者選任選挙(投票)の実施

第7期役員改選に向けて、理事候補者選任選挙を実施した。(定数の過半数の8人を選出)

選挙人 363人 被選挙人 341人

選挙期間 2011年11月16日~12月7日 投票者総数 120人 投票率 33.1%

選挙管理委員 妻鹿ふみ子、疋田恵子、後藤麻理子

(5) 委員会

①運営委員会 月1回、12回開催した。(開催予定地:東京・大阪など 合宿1回)

i) 2011年度運営委員名簿(2011.4-2012.3)

※2011年12月31日現在

NO	氏名	地域	所属
1	岩浪 武司	山形	鶴岡市第四学区社会福祉協議会
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	唐木理恵子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
4	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会
5	小林 郁義	東京	市民活動センターたちかわ
6	後藤麻理子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
7	足立 陽子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
8	上田 英司	東京	特定非営利活動法人NICE
9	熊谷 紀良	東京	東京都社会福祉協議会
10	北村 裕子	東京	会社員
11	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会城山地域事務所
12	倉本 泰孝	神奈川	葉山町社会福祉協議会
13	坂口 平	長野	知的障害者更生施設上田悠生寮
14	山方 元	愛知	愛知県立豊橋工業高等学校
15	田中 利昌	愛知	刈谷市民ボランティア活動支援センター
16	鈴木 盈宏	愛知	トヨタグループボランティア連絡会
17	渡邊 文人	愛知	愛・地球博ボランティアセンター
18	福本 滋	京都	京都ボランティア協会
19	小林 政夫	京都	立命館大学ボランティアセンター
20	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
21	早 瀬 昇	大阪	大阪ボランティア協会
22	岡村こず恵	大阪	大阪ボランティア協会
23	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
24	垂井加寿恵	兵庫	神戸市中央区社会福祉協議会ボランティアセンター
25	野尻 紀恵	愛知	日本福祉大学
26	公文真理亜	福岡	北九州市社会福祉協議会
27	加留部貴行	福岡	九州大学
28	高口 貴子	福岡	原土井病院

ii) 運営委員会の開催
計画通り、運営委員会を開催した。

回	日程	会場	出席
第1回	1月15日(土)	地球環境パートナーシッププラザ(東京)	14人
第2回	2月6日(日)	キャンパスプラザ京都	10人
第3回	3月21日(祝・月)	角筈地域センター(東京)	19人
第4回	4月10日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	21人
第5回	5月8日(日)	岸町ふれあい館(東京)	18人
第6回	6月26日(日)	天神西茂ビル(福岡)	17人
第7回	7月23・24日(土・日)	福島県総合社会福祉センター／飯坂温泉	18人
第8回	8月28日(日)	キャンパスプラザ京都	18人
第9回	9月19日(月・祝)	角筈地域センター(新宿)	16人
第10回	10月16日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	12人
第11回	11月23日(水・祝)	COMBi 本陣	16人
第12回	12月18日(日)	東京文化会館(上野)	11人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進する。

i) 広報普及委員会 …会員新規拡大、ホームページ充実、ボランティアコーディネーター基本指針の普及など、JVCAのPR活動全般

回	日程	会場
第1回	1月15日(土)	地球環境パートナーシッププラザ(東京)
第2回	2月6日(日)	キャンパスプラザ京都
第3回	3月21日(祝・月)	新宿区角筈地域センター(東京)
第4回	4月10日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第5回	5月8日(日)	岸町ふれあい館(東京)
第6回	6月26日(日)	天神西茂ビル(福岡)
第7回	7月24日(日)	飯坂温泉 ※会員サービスとの合同委員会
第8回	8月28日(日)	キャンパスプラザ京都
第9回	9月19日(月・祝)	新宿区角筈地域センター(東京)
PR活動	11月12・13日(土・日)	全国ボランティアフェスティバルへの出店および展示
第10回	11月23日(水・祝)	COMBi 本陣
<p>※ スカイプを使用したのチームミーティング 全国のメンバーがなかなか一堂に会する機会がとれず、委員会に出席できないメンバーの参加方法を検討した結果、スカイプ(Skype)を活用してのミーティングを試行した。 2回</p>		

- ii) 会員サービス委員会 …CoCoサロンの開催支援、Co☆Co☆Net編集、会員メールマガジンの活性化など、会員継続支援や会員に向けた情報提供

回	日程	会場
第1回	3月21日(祝・月)	新宿区角筈地域センター(東京)
第2回	4月10日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第3回	6月26日(日)	サイゼリア・天神西茂ビル(福岡)
第4回	7月24日(日)	飯坂温泉 ※会員サービスとの合同委員会
第5回	8月28日(日)	キャンパスプラザ京都
第6回	9月19日(月・祝)	新宿区角筈地域センター(東京)
第7回	10月16日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第8回	11月23日(水・祝)	COMBi 本陣

- iii) 研修開発委員会 …実務者向け基礎研修等の実施、専門委員会との協働

- iv) JVCC企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会2011・2012の企画、今後のあり方検討

- v) 財政委員会 …財政シミュレーションと具体的な財源強化対策

回	日程	会場
第1回	5月8日(日)	岸町ふれあい館(東京)

③ 専門委員会の設置、運営

- i) 検定・認定システム化検討委員会(継続) ⇒ 前述のとおり
 ii) 検定試験委員会(継続) ⇒ 前述のとおり

④ プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図った。

- i) 研修実施プロジェクトチーム ⇒ 研修開発委員会で対応
 ii) ホームページメンテナンス・タスクチーム ⇒ 事務局と広報普及委員会メンバーで対応
 iii) ボランティアコーディネーター倫理綱領作成チーム ⇒ 再編成協議中
 iv) 中期ビジョン2011-2013策定チーム ⇒ 総会での承認をもって解散
 v) JVCA創立10周年記念事業検討・準備チーム ⇒ 2011年度終了に伴い解散

(6) 創立10周年記念事業ならびにパーティーの実施

①「JVCA創立10周年記念の集い」を開催した。

日程	会場	出席
2月27日(日)	龍谷大学 深草キャンパス 生協食堂	58人

②創立10周年記念にJVCAのあゆみについてのパンフレットを作成した。

③ボランティアコーディネーション推進拠点整備のための寄付金を呼びかけた。



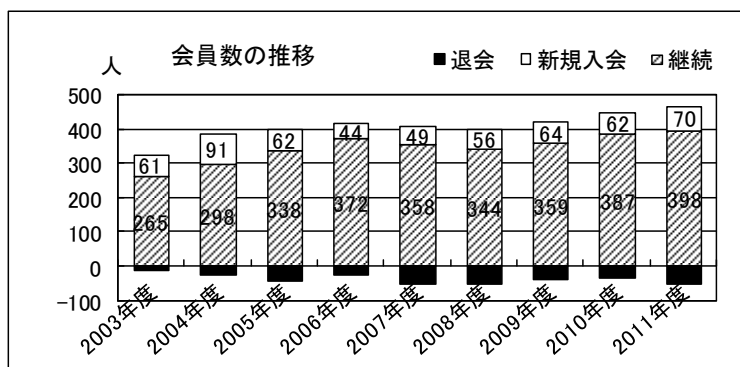
(7) 会員拡大および会員サービスの充実

①会員拡大に関する取り組み

- ・ボランティアコーディネーションカ3級検定合格者に対し、合格通知の際にJVCC2011開催と入会の案内を行った。
- ・ボランティアコーディネーションカ2級検定合格者に対し、合格通知の際に入会のお誘いを行った。

▼12月31日末時点の会員数

正会員	365
準会員	62
賛助会員(個人)	29
賛助会員(団体)	12
合計	468



②会員サービスの見直しとサービスの拡充

会員メーリングリストの活用促進のため、具体的な発信例を整理・加工して、会員専用ページに掲載した。

③会員継続支援サービスの充実

会員にニーズに応じたJVCAへの参加や活用方法を知ってもらうため、入会時に「会員旨みツール」を送付した。

(8) 事務局運営の充実

①事務局スタッフの強化

⇒スタッフを採用した。常勤職員1名、非常勤職員2名

②事務局担当理事の設置(継続)

⇒必要に応じて、職員採用・育成や事務局の日常的な運営に対するスーパーバイ

ズができる体制をとった。

③事務所スペースの拡大・移転先の検討

⇒検定等に関わる保存書類の増加と、事務所スタッフの増員に伴い、事務所を移転した。

(9) 財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大

会員特典(JVCC・研修・セミナー参加費・検定料割引など)を積極的に周知し会員の勧誘を図った。

②事業収益の拡大

⇒検定受験者を安定的に確保するためのPRにつとめた。

③その他財源の拡大(助成金、委託事業など)

⇒・公益財団法人トヨタ財団からの大震災支援のための助成金が採択された。

2011年度 イニシアティブプログラム助成

- ・災害ボランティアコーディネーションを考えるつどいなどの後方支援活動を継続するための助成金を、三菱商事株式会社が行う、東日本大震災復興支援助成金に申請したが不採択となった。

(10) 認定NPO法人格取得に向けた取り組み

2010年度より実施している3,000円以上の寄付者の確保に努め、目標件数に達した。

寄付者 ※PSTの条件に合う個人・団体のみ

2010年度 108人 / 2011年度 90人

賛助会員(個人・団体) ※当該年度会費納入者・団体のみ

2010年度 32人・団体 / 2011年度 29人・団体